

大学名

豊橋技術科学大学

第59号テーマ

「ニューノーマル時代の大学」

表題

経済支援に生活支援。学生の「元気」は大学が取り戻す！



アイスブレイクをして和む新一年生の懇談会

豊橋技術科学大学は、寺嶋学長の理念「社会に貢献し元気な大学を作る」に向けて、教職員がベクトルを揃えつつある。このコロナ禍においても様々な学生支援策を講じ、ポストコロナの学生の芽吹きに期待を寄せている。

経済面では「緊急学生経済支援プラン」として、遠隔授業への対応や生活維持のため、5月に国立大では初となる、留学生を含む全学生に一律3万円を支給、12月には第2弾として一律5千円を支給した。また、同窓会からの寄附金を活用した「緊急学生支援金」を家計困窮学生を対象に、最大100万円の給付を実施している。

生活面では、緊急事態宣言下で帰省できない学生宿舎生を元気づけるため、「TUTエールランチ」(通常の定食の豪華版)の無償提供を4回実施し、そのほか、新入生からの『誰が同級生なのかもわからない』という声を受け、学生同士の交流の場として懇談会を実施。さらに、教職員による応援メッセージ「学生生活だより」、学生相談スタッフによるリラックスクラム「あずゆーらいく」を継続的にメール配信している。

今後も「元気な大学を作る」ため、経済と生活の両面から、学生の活力アップを全力で支援していく。

(学生生活だより No.17)

令和2年12月24日

「英語担当教員が口にはできない人生を楽しむ英会話術
～You would enjoy your life if you read this instruction～」【前編】

グローバル工学教育推進センター 大門裕之

筆者は、大阪府立高専(現大阪府立大学高専)工業化学科を卒業し、大学の9期生であり、課程博士108号の学位を取得した増田の成です。現在は、グローバル工学教育推進センターに所属し新学生の支援を主に担当しております。英語担当教員ではない筆者が独自に考えた英会話術を前編と後編の二回に分けて紹介します。どうぞ気軽にお楽しみください。人生がより楽しくなるはずです。

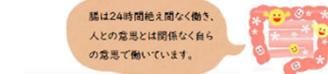
皆さんは、これまでなぜ勉強を続けているのですか？それは、将来の可能性を拓くためなのではないでしょうか。英会話ができれば、その可能性をもっと拓くことができます。そして、英会話の経験は、皆さんの将来において、決して棄てることはございません。私が高専時代に、得た英会話の経験が開発される。英語より中国語を学ぶ方が世界で通用すると考えました。そして、英会話どころか英語の勉強を長く続けてきていました。皆さんは、そんな勉強はことは考えてはいられないまま、皆さんの15歳下ぐらいの先輩は、英会話が得意で当たり前という時代になります。

東栗家である藤江典文氏の語にあるように、勉強や努力は足し算で、人との出逢



大門教授

ユーモア溢れる、温かいメッセージを配信する「学生生活だより」



「あずゆーらいく」では、ちょっとホッとするお役立ち情報を発信



寺嶋学長発案のエールランチは学生に大好評